

# 2008 American Hardwood ECO Interior Stylebook

American  
Hardwood  
E C O  
Interior  
Stylebook  
in Hokkaido

In case of  
Waiting Room  
of Dental Clinic  
in Hokkaido

How to make  
ECO Interior?

[www.ahec-japan.org/](http://www.ahec-japan.org/)



# 2008 ECO Interior Project in Hokkaido

## はじめに

アメリカ広葉樹輸出協会 (AHEC) では、アメリカ広葉樹の家具材や建築内装材としての有効利用の促進を図るために、アメリカ広葉樹の特徴である節や色遣といったキャラクターマークを敬遠せずに使うことを提案する「エコ・プロジェクト」を2001年より続けて参りました。従来、日本ではそれらのキャラクターマークは欠点とされ使用されてこなかった為に歩留まりが悪くなり、結果的にコストにも影響してきました。しかし、世界的なエコロジーや自然環境への配慮等の意識が高まり、日本でもキャラクターマークは自然感の表現方法として認識されるようになってきています。

そのような流れの中で、2008年夏に環境問題を中心に議論されたG8サミットが開催された北海道で、今年の「アメリカ広葉樹エコ・インテリア・プロジェクト」を展開しました。今回は札幌市内の歯科医院の待合室の内装としてアメリカ広葉樹材が使用されました。ユニークかつ大胆なデザインは、いままでに例のない空間表現であり、またアメリカ広葉樹の本当の良さを実感していただける素晴らしい仕上がりです。低級材と呼ばれるアメリカ広葉樹製材の#1・#2コモン (B・C) グレードでも、キャラクターマークをうまくデザインとして取り入れて見事に使いこなしています。

このような素晴らしい内装工例をこの資料に集約し皆様にお届けすることによって、日本の多くの建築関係者の方々さらには一般消費者の方々に、適切な森林管理がなされ安定供給が可能なアメリカ広葉樹材の魅力をお伝えするとともに、さらなる需要の拡大につなげていきたいと考えております。

最後に、アメリカ広葉樹輸出協会として今回のプロジェクトにご協力頂いた全ての皆様に深く感謝しております。

アメリカ広葉樹輸出協会 (AHEC)

専務理事 マイケル・スノー

## Introduction

The American Hardwood Export Council (AHEC) works to promote American hardwoods in markets around the world. Since 2001, we have introduced an annual eco-project to encourage more efficient use of this natural resource.

These eco-projects showcase American hardwoods with sound knots, color contrasts, and other natural features. In Japan, the trend for many years has been to exclude these features—known as character marks—as undesirable. But eliminating the portions of harvested logs that show such features reduces yields while adding to the cost of the end product.

Happily, there is growing appreciation for character marks as natural attributes of wood. Used in end products such as furniture and interior parts and fittings, character marks bring the beauty of nature into indoor spaces.

Pursuing ecologically-sound activities that also make economic sense—this was one of the topics discussed by world leaders at the G8 Summit held this summer in Hokkaido. And as more and more people become acutely aware of the ways in which human activities are affecting the natural environment, there is growing impetus for change in the way we use our resources.

We at AHEC feel certain that this year's eco-project will continue to be a catalyst for changing people's perceptions of natural wood. The interior of a dental clinic in Sapporo has been finished using #1 and #2 Common, grades also known as B and C grades. These lesser grades, which are hardwoods inclusive of character marks, have been used to stunning effect in a uniquely creative interior design.

We are pleased to present here the results of the 2008 American Hardwood Eco-Interior Project in Hokkaido. We hope that many people, both trades people and consumers, will see these striking applications for American hardwoods and enjoy their beauty.

As you read through this stylebook, you will also understand that American hardwoods are the product of rigorous forest management practices. We hope that as more people in Japan realize that American hardwoods are a sustainable and renewable resource, you will consider American hardwood products for your homes and interiors. Our stable supply ensures that we can serve a much broader market.

Thank you for your interest in American hardwoods. I would also like to express my heartfelt thanks to all the firms and individuals who have helped to make this year's eco-project a success.

Michael Snow  
Executive Director  
American Hardwood Export Council



写真は照明に浮かり上がるアメリカ広葉樹の暖かそうなインテリアが通行人の目をとめる



## 森の中を思わせる 歯科医院の待合室

札幌市・遠藤歯科クリニック

2008年のアメリカ広葉樹エコ・インテリア・プロジェクトは、北海道札幌市内の歯科医院の待合室です。札幌市を南北に流れる豊平川の東側、豊平区平岸3条の環状通に面して新し

く開院される遠藤歯科クリニック。交差点の角にある敷地は、院長の父上が長年購置されていた小児科医院の跡地です。北側の環状通りに面した大きな開口

左 待合室からエントランス方向を見る。中央のらせん階段は2階のセミナー等を開催できる多目的室に通じる。右側は受付、受付の左隣のドアは診察室への入口

上 床から壁、天井にぐるりと回り込むように結ばれたアメリカ広葉樹の滑らかな曲線的な彫刻が診察前の緊張感を和らげられる。床と壁、壁と天井のコーナーもアールをもたせてデザインされている



部から通るに行く人たちが内部をのぞいていきます。見えるのは、アメリカ広葉樹で床から壁、天井をぐるりと取り囲んだ、あたかも森の中を思わせるような空間です。とくに夜間、外観が夕靨にとけ、内部の照明が灯ると暖かそうなアメリカ広葉樹と真っ白な壁の見事なコントラストが眼を引きます。

従来のように治療だけに留まらず予防歯科にも力を入れていきたいとお考えの遠藤院長は、キュアとケア、つまり予防と治療の両面を新しい医院の柱にしていこうとされています。先進の医療機器導入にも積極的で、患者さんの歯の状態を3D映像でモニターに表示させる最新鋭のCT（コンピュータ断層撮影）を完備しています。従来のX線の二次元画像と違い、立体的な三次元のCG画像なので、患部の説明や治療方法に関しての説明も一段とわかりやすくなります。

開院時は東側の3ユニットを診察室として利用される予定ですが、将来的には中央部に設けられた消毒コーナーを挟んだ西側のユニットにも治療機器を設置される予定で、そうなると東側を治療コーナー、西側を予防歯科のコーナーというように分けていく予定だそうです。

ご存知のように歯科の治療にあたっては、患者さんのプライバシーに関わる内容の話をすることも多いため、診察室は個室化するという事で計画がまりました。

設計を担当されたのは、日本建築家協会（JIA）北海道支部に所属されている建築家の小西彦仁さん。医院のコンセプトに沿った建物ということで、個室化の要望に応え、内部はもちろん、外部から見ても建物が分かれて見えるように設計されており、個室化された歯科医院というイメージを外観からもアピールしています。

エコ・インテリア・プロジェクトでは、節や色遣といったキャラクターマークを含んだローグレードのアメリカ



左 2階から待合室を見下ろす。貼られている壁紙は、色の違いにウォルナット、チェリー、ハードメープル、ホワイトアッシュ。床や壁など一部の部分には一つの樹種を貼るという従来の考え方も違い、ここでは4つの樹種を取り混ぜて貼られているが、全く違和感を感じないどころか自然感に満ちている。よく見ると、材の

巾と長さが異なっていることが分かる

上 らせん階段越しに歯科療機の天井を見る

下 待合室。床から天井までキャクゼラーのようにくまなく木材が、コーナー部分も角を設けず、アールを持たせてある



待合室の空間まで細かくアメリカ広葉樹で仕上げられている



患者用トイレ内部の見上げ



手洗室と患者用トイレ



アメリカ広葉樹に包まれた患者用トイレ内部

左 エントランス見上げ、床から窓枠の細部、材料屋根のアルまで全面にアメリカ広葉樹が貼られた空間



広葉樹材を建築にうまく活用していた  
 だくという条件でアメリカ広葉樹製材  
 を提供しているわけですが、今回はど  
 ういう風に活用されたのでしょうか。  
 北海道らしく風除室のある玄関を通  
 り、受付と待合室に入ったとたん、ほ  
 とんどの人が目を見張ります。床から  
 壁、そして傾斜屋根の天井にいたるま  
 でぐるりと空間を包み込むように貼ら  
 れたアメリカ広葉樹は、なんと色の違  
 うウォルナット、チェリー、ハードメ  
 ープル、ホワイトアッシュの4種類の  
 樹種が取り混ぜて貼られているので  
 す。床にはこの樹種、壁には、天井に  
 は、と樹種を分けて貼る一般的な手法  
 を見慣れている人にはインパクトがあ  
 ります。しかも、よく見るとそれぞれの  
 樹種の製材はそれぞれ3種のうちの  
 が使われています。ところがこれが  
 すくすく自然で暖かなイメージをかもし  
 出しているのです。とくに傾斜屋根  
 の大きな空間を生かした玄関の上部や  
 トイレの中の壁の立ち上がりから天井

にいたる部分は圧巻です。

もちろん施工は、大変だったようで  
 定期的に繰り返すのもおかししいし、ラ  
 ンダムに貼りながら、自然に感じさせ  
 るにはどうするか、現場では意識的に  
 同じ色の樹種を連続して貼るなど、何  
 度も試行錯誤と協議を繰り返されたそ  
 うです。結果的にはまるで森の中にい  
 るような雰囲気ある自然で落ち着いた空  
 間が生まれました。

また、アメリカ広葉樹を使うことが  
 決まってから、それなら外の通りを歩  
 く人からもその空間が見えるように  
 と、開口部を大きくしたり、スタッフ  
 の部屋にする予定だった2階にも同じ  
 ようにアメリカ広葉樹を貼ったセミナ  
 ー室を設け、待合室から2階に直接い  
 けるらせん階段も設置されたのです。

最新の医療機器とアメリカ広葉樹の  
 落ち着いた優しい空間が、院長のイメ  
 ージされる新しい時代の理想の歯科医  
 院を実現したといえます。

左上 2階のセミナー等に活用される多目的室  
 の床にも4種類のアメリカ広葉樹が取り混ぜて  
 貼られている

左下 多目的室から収納を見る

下 最新鋭の医療機器が完備された診察室。モ  
 ニターにはCTで撮影された患者さんの歯の画像  
 が、CGで立体的に再現される





上 東側外観。個室の診療室を持った歯科クリニックであることが外観からも出てくる。全面に掛けられた木製ルーバーが目隠しの役目を果たしている

左 北東側外観。室内は大きな傾斜屋根が有効に生かされている

遠藤歯科クリニック平面図



2階



1/300 1階

#### 遠藤歯科クリニック建築概要

所在地 / 札幌市豊平区平岸3条  
 設計・監理 / 有限会社ヒコ コニシ  
 設計事務所  
 担当 / 小西啓仁  
 施工 / 株式会社福島工務店  
 担当 / 北本啓也、菅院和裕  
 用途地域 / 近隣商業地域  
 防火指定 / 準防火地域  
 主要用途 / 歯科診療所  
 工事種別 / 新築  
 階数 / 地上2階  
 構造 / 木造  
 敷地面積 / 367.61㎡  
 建築面積 / 165.65㎡  
 延べ面積 / 219.14㎡  
 1階 152.04㎡  
 2階 67.08㎡  
 建蔽率 / 45.06% (許容90%)  
 容積率 / 59.61% (許容300%)



## 治療前の緊張感をやわらげる空間を

遠藤歯科クリニック 院長 遠藤之誓氏

予防歯科という言葉があるのですが、治療だけでなく、予防歯科を合わせてやりたいと思います。期院時は片側の3つの診察室を始めますが、将来的には、現在の3室は治療に当て、反対側の空いている空間に設備を入れて、そちら側を予防歯科に当て、キユーとケアを分けてやっていこうと考えています。両方の中央には消毒のコーナーを設け、スタッフが動きやすいようにしています。

医療設備的にはこれからは従来のX線に替わって、CTやマイクロスコープといった先進的な機械を使って診察や治療ができるような環境が歯科のスタンダードになっていくと思います。

今回はCTを導入しましたが、病気の箇所や原因を探ることはもちろん、患者さんにCG画像で立体的に歯の状態を見てもらえるので、治療箇所や治療の方法について情報を共有していくことも可能になります。将来的にはマイクロスコープの導入も計画しています。

それに、歯科は、プライベートなこともお話ししますので、問診切りだけでなく、個室の方がプライバシーの保護の観点からもなるかにいいわけで、今後は診察室を個室化したい歯科が主流になっていくと考えています。とくにこの建物は、内部だけでなく外か

ら見ても部屋が別れていることが分かるので、患者さんにも個室のイメージを伝えやすいと思います。

治療前は緊張される患者さんが多いので、当初から待合室はリラックスできるような柔らかい雰囲気を作りたいと考えていました。素材をどうするかという時にアメリカ広葉樹を活用させて頂けたという話を聞き、木材なら温かいイメージで落ち着いた雰囲気のできるのではと思いました。このように4種類の樹種を混ぜて用いることは、想像もしなかったことですが、出来上がってみると、様々な木材の表情や色が自然感を強く感じさせてくれ、暖かみのある落ち着いた空間になり、イメージ通りになったと喜んでいました。

2階も当初は僕やスタッフの部屋とミーティングルームの予定だったのですが、アメリカ広葉樹を使えるのなら、セミナールームにして、待合室から直接上げられる階段をつけることによって母体教室を開いたり、キッズルームとして使うなどの多用途性ができました。

将来的には保育の免許を持ったスタッフを採用して、治療中お子さまの面を見ることがなども考えています。かつてはこの場所で父が小児科をやっていたので、子供に関することは引き継いでやっていきたいと思っています。



## 医院のコンセプトに対応した建物を 有限会社ヒコ コニシ設計事務所 小西 啓仁氏

医院のコンセプトに対応した建物を考えたわけですが、まずひとつは診察室の個室化です。内部だけでなく、外から見ても分割されているように見える建物になっています。

もう一つは、治療前の緊張感や不安感を和らげられるような空間にということで、傾斜屋根を使い、大きな開口部を設け、光を取り入れることにより待合室などを開放的なものにしていきます。通常の医院の待合室というよりは、リビングやラウンジといったイメージです。そんなところにアメリカ広葉樹を使わないかというお話があったのですが、木材を使えば、さらにやわらかい空間が作れるのではと思いました。できるだけやわらかな空間を作るためにエッジをアルミにし、なるべく角をつくらない空間にしています。また、床、壁、天井を明確に区分するのではなくひとつの素材で一体化することにより、広葉樹の中に包み込まれるような空間をつくれなかと考えました。一体感を強めるために4種類の樹種を混ぜて使うことにしたのですが、結果的には非常に効果的でした。事務所ではコンピューター上で色分けしたのですが、4種類の樹種を3種類の中ですら使ったので、現場は大変だったようで、種



梁が苦心してつくってくれました。

アメリカ広葉樹輸出協会からお話をいただいたのは、丁度素材を決めようというタイミングだったのですが、広葉樹を使うことになってから外からも広葉樹の美しさや内部の暖かい空間を見えるように開口部を大きくしたり、2階に直接上げられる階段を設けるなど一部計画を変更しています。インテリジックにはアメリカ広葉樹以外の部分を真っ白にし、アメリカ広葉樹を際立たせています。

それと、ここでは床暖房を採用していますが、広葉樹が直接床暖房に当たるとダメージを受けるので、10センチ程の空間をつくり、その空気を暖めるようにしています。北海道の建物なので、窓下にはコールドドラフトを防ぐためのスリットを設け、床下に設けられた空間で暖まった空気が直接出るようにしています。

これだけの量のアメリカ広葉樹を使ったのは初めてですが、インパクトがあり、色も非常にいいので、今後の経年変化が楽しみです。それに、仮装品の合板のフロアと比べると質感が全く違い、やはり本物の素材力のすごさを感じました。

アメリカ広葉樹は、素材力もあり、色に変化に富んでいるのでコストさえ合えば、大変使いやすい素材だと思います。節や色澤などのキャラクターマークは、自然の木材だから気にならないというより、あった方がいいと思います。



# How to make ECO Interior ?

2008年7月29日北海道小樽市銭函にある今回のプロジェクトの木材加工を担当する株式会社新宮商の銭函工場に、建築主、設計者、施工者、加工担当者等すべての関係者が集まり、米国から到着したアメリカ広葉樹製材を視察しました。視察後は、プランに基づき加工方法や加工上の問題点や注意点が熱心に議論されました。とくに、床暖房が設置される予定なので、床暖房の熱に対する無垢材の対処方法についても議論を重ねました。



# How to make ECO Interior ?

伐採した木材の有効利用に取り組みアメリカ広葉樹製材の場合、日本のように一定サイズでなく乱巾、乱尺です。それに節や色道等のキャラクターマークをデザインとしてうまく活用できれば、歩留まりも70%~80%と自然の恵みであるアメリカ広葉樹をふるに活用することが可能です。今回は、ウォルナット、チェリー、ハードメープル、ホワイトアッシュの4種類の製材を3つの巾に加工して施工しています。

床、壁、天井を別々の樹種にするのではなく、4つの樹種を取り混ぜて、キャタビラーのように回り込ませて貼るという大胆な試みでしたが、施工された大工さんたちのセンスと技術によって森の森を思わせる自然感に満ちた空間になりました。



4種類、3種の巾の製材を取り混ぜて貼るわけですが、繰り返しでは面白くないし、バラバラではつくりようがない。意図的に黒同士を連続させたり、赤同士を連続させたりするなど節を留ませながら、現場で協議して作業しました。

床部屋の熱を無垢材に直接当てるとうれいも狂いが生じるので、空気層を設け、木材に蓄熱させています。合板と違い、無垢材の場合は、厚ければ厚い程蓄熱効果があるといえます。

株式会社福島工務店  
工事課長 北本 博也氏





米国大使館 商務担当公使  
ジェフリー・ウィギン氏

今回のクリニクは日本と米国のパートナーシップがいかたで機能しているサンプルだと思えます。日本のクライアントと米国のサプライヤー、そして日本のインテリアの中で米国の木材が効果的にとても美しく使われています。

日本の建築＝木材というイメージがありますが、木というものを部屋の美しさを表す材料としてうまく使っていると思います。

ブラッドフォード・フォレスト社  
営業課長  
パトリック・ヘネヴィック氏

とてもクリエイティブな仕事だと思います。一つの樹種の材を使ってつくることはよくありますが、4つの樹種を本当にいいセンスでデザインされていると感じました。とくにキャラクターマークが生かされていることに感心しました。私共の木材が日本のスタイルでどう使われるかということを見させていただき、多くのことを学ばせて頂いています。



アメリカ広葉樹輸出協会 専務理事  
マイケル・スノー氏

世界中でアメリカ広葉樹の異なる使われ方を見ていますが、エコ・インテリア・プロジェクトは毎年楽しみにしています。

今回は4種類の樹種と3種類の巾が非常にうまく使われており、異なる色や木目の動きが自然の美しさや、ありのままに表現していると思えました。また、ランダム＝自然は、一手手のかかる仕事ですが、丁寧な仕事をしていると思いました。

# What's ECO Interior Project?

## 自然からの恵である森林資源を有効利用するために

地球温暖化の引き金になる等、不法伐採や無制限な伐採が大きな問題になっています。日本の伝統的な建築文化では、木材は柱目の無節が優良とされたために、無節の柱目ばかりが重宝される傾向があります。しかし、限りある森林資源を有効利用するためには、欲しいところだけを使うのではなく、自然の恵みである木材を徹底して使い切ろうという考えがこれからはますます重要になっていきます。

欧米のように心材や辺材も混在させ、節や色違いなどもデザイン的にうまく用いることは、自然保護にもつながり、今後の日本にも求められる視点です。そこでアメリカ広葉樹輸出協会では、「エコ・インテリア・プロジェクト」としてアメリカ広葉樹のキャラクターマークと呼ばれる自然材ならではの特長を、建築の内装に有効に活用することを提唱しています。

## アメリカ広葉樹のキャラクターマークをご存知でしたか

キャラクターマークとは、アメリカ広葉樹に見られる自然の特長で、樹種固有のものもあれば、樹種に関係なく共通して見られるものもあります。その中には、クリアーで欠点のない材面として歩留まり計算上も認められ、欠点と見なされるものと、欠点とされるものがあり、全米広葉樹製材協会（NHLA）によって明確に規定されています。なお、欠点となる特長も、使用場所によれば、自然感をいっそう強く伝えることが可能であり、コスト面でのアドバンテージも高くなります。

### 全米広葉樹製材協会によるNHLA格付基準で クリアー材と認められるキャラクターマークの例



心材と辺材

心材は中心から辺材までの部分で、通常濃色。辺材は、外周に近い淡色の木質部分。



ガムストリーク

チェリー特有の金部に似た木目に沿って入る変色。日本ではヤニコブと書われています。



グラスウォーム

金部に似た変色が顕在。アッシュによく見られます。



ミネラルストリーク

一般に木目に沿って走る、淡緑色から濃褐色など様々な変色。



塗

漏れを隠したり、ぬじれの生じた木目。節ではありません。



スティッカーマーク

乾燥工程で入れた異物の跡がついたもの。プレーヤー加工で除去できる表面的なものもいます。

## キャラクターマークをうまく生かした 〈エコ・インテリア・プロジェクト〉の施工例を募集しています。

アメリカ広葉樹輸出協会では、アメリカ広葉樹のキャラクターマークといわれる節や色違いの特長をうまく生かした建築内装の施工例を募集しています。

まずは写真と使用樹種をお知らせください。〈エコ・インテリア・プロジェクト〉の施工例として、今後制作するアメリカ広葉樹輸出協会の印刷物にてご紹介させていただきます。なお、掲載に際しましてはロシアや中国産ではなく、米産の広葉樹であることが当協会にて確認できたものに限定させていただきます。

### 〈エコ・インテリア・プロジェクト〉についてのお問い合わせ先

アメリカ広葉樹輸出協会 (AHEC)

大阪市北区西天満2-11-5 アメリカ総領事館内 〒530-0047

TEL 06-6315-5101 FAX 06-6315-5103 <http://www.ahec-japan.org/>

## アメリカ広葉樹をスムーズに活用いただくために

長年にわたりアメリカ広葉樹材の日本でのプロモーションにご協力いただいております。今回のプロジェクトに多大なご協力をいただいた株式会社新宮高行の常務取締役江口至一氏に、これからの日本でのアメリカ広葉樹材の方向性についてお話を伺いました。



### 日本とアメリカの厚みの違い

日本の住宅でアメリカ広葉樹の最も多い場所はフロアですが、日本で床材としての用途にアメリカ広葉樹が普及しにくい問題点の一つは、その厚みに原因があるのです。日本の場合は販売店も施工会社も複合フロアに慣れていますので、厚さは一般的には12mm、無垢材の場合でも15mmまで、よほどのことがない限り18mm以上が一般住宅で使われることはありません。従って日本で最も需要が多いのは、アメリカ広葉樹というラフ材厚が3/4インチ(19mm)ということになります。私どもではレッドオークの一部とポプラに関しては、3/4インチで供給できるのですが、他の樹種は4/4インチ(25mm)以上の厚みのものになってしまいます。

米国サイドから3/4インチの厚さのものが十分に供給できれば、日本でのアメリカ広葉樹の床材の販路はもっと広がると思います。現在は、この4/4インチを15mmに削って使っています。フロア用の樹種として、今人気のあるのはオルナットですが、これなどもつたいないことに、4/4インチを15mmまで削って使っているわけです。

もう一つの問題は、3/4インチで削り

てもすばは4/4インチという米国サイドのビジネスの風習も日本のユーザーにとっては抵抗感があります。つまり4/4インチを3/4インチに削った場合、価格は4/4インチの1.25倍になるというわけです。削り部分が多いのでコストが上がるとは分かるのですが、日本に必要な厚さにするために削くのですから、その点を理解して欲しいと思っています。

### 乱幅やキャラクターマークについて

もちろん、中には完璧なものを求められるお客さんもいらっしゃいますが、変化を求められるお客さんも増えてきていますので、私どもとしては両方のお客さんに対応できるようにしておきたいと考えています。用途によりか、最近では突き板などのフロアメーカーもカタログにキャラクターマーク入りのものを載せるようになってきました。

### 図面を引く前にぜひ相談してください

最近では、アメリカ広葉樹をお使いいただく設計事務所も増えてきましたが、図面を起こす前に私どものような木材社

に相談してほしいと思います。やはり相談しながら、図面を起こしていただくことが一番大事だと思います。どなたが設計されたのかわからない、どういった経路でこの樹種が選ばれたのかわからない、中には無垢材で幅200mmで長さ4mの径目って書いてあるなど、図面の解釈がおかしいケースもまだまだたくさんあります。木材のことをご存知のない設計事務所のアシスタントが無垢材という指示だけで記載されていたりすることも多いようです。

こういう材を使いたいんだけど、入手可能な長さとか幅はどうなのかとお問い合わせいただきたいと思います。



株式会社新宮高行  
常務取締役 江口 至一氏

## アメリカ広葉樹の主要樹種と特徴



**Red Alder** 【レッドアルダー】  
米国西部、太平洋沿岸地域の代表的な広葉樹。佐賀時にはほとんど白色だが、空気に触れると淡紅色から淡褐色に変わる。



**White Ash** 【ホワイトアッシュ】  
米国東部産樹種。材は白色に近い黄色。芯材は灰褐色から淡褐色、褐色の帯が入った薄黄褐色に変わる。



**Yellow Birch** 【イエローバーチ】  
米国東部に分布し、おもに芝罘や五木湖沼湖沼で産出。芯材は白色、芯材は淡紅色で、木目は通り木目も。



**Cherry** 【チェリー】  
米国東部産樹種。芯材は乳白色、芯材は真紅から紅褐色で、光にさらされるとさらに濃くなる。



**Hickory** 【ハックベリー】  
米国東部に分布し、材は黄色、心材は淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。レッドオークより放射線幅が長く、木目が密。



**Hard Maple** 【ハードメープル】  
米国東部の高地で産出。赤褐色から乳白色で、芯材は淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。白木目、白木目も通っている、白木目も通っている。



**Red Oak** 【レッドオーク】  
米国東部産樹種。材は白から淡褐色、心材は褐色から赤褐色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。木目粗く、紅葉したところの名がある。



**White Oak** 【ホワイトオーク】  
米国東部に分布し、材は白色、心材は淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。レッドオークより放射線幅が長く、木目が密。



**White Poplar** 【ホワイトポプラ】  
米国東部に分布し、材は白色、心材は淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。コックランドとも呼ばれる。



**Tulipwood** 【チュリップウッド】  
米国東部産樹種。材は白色から淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。木目は中程度まで濃い。木目は通る。



**Walnut** 【ウォルナット】  
米国東部に分布し、材は白色から淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。木目は中程度まで濃い。木目は通る。



**Willow** 【ウィロー】  
米国東部に分布し、材は白色から淡褐色から淡黄色、木目は通り、木目は中程度まで濃い。木目は中程度まで濃い。木目は通る。

## アメリカ広葉樹は安定供給可能、しかも合法性が証明された天然資源です。



### 過去50年間、森林蓄積量が 増え続けるアメリカ広葉樹

米国連邦政府の統計によれば、アメリカ広葉樹の年間生長量は伐採量を大きく上回っており、過去50年間アメリカ広葉樹の森林蓄積量は増え続けています。それは連邦、各州と民間が協力して適切な森林管理を行っているからです。

### 73%以上が個人所有の アメリカ広葉樹林

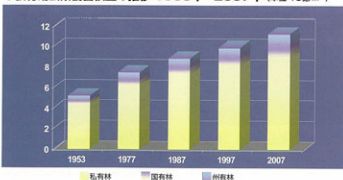
米国の広葉樹は植林によって人工的に育てるのではなく、あくまで天然交配により自然に成長する木を選択して伐採するという方法で維持されています。その約73%以上が個人の所有林で、それらの多くは同じ所有者により何世代にもわたって維持されてきたも

のです。約400万人といわれる私有林所有者は平均20ヘクタール未満の森林を所有しています。

### 導入が難しい森林認証制度

米国の広葉樹林の所有者の多くが個人であることは、かなりの経費を必要とするSFI(Sustainable Forestry Initiative)やFSC(Forest Stewardship Council)といった森林認証制度が普及しにくいということになります。米国で生産される製材のほとんどが、それらの個人の森林所有者

●製材用広葉樹蓄積量の推移 1953年～2007年 (単位 10億m<sup>3</sup>)



から供給された原木で、しかも毎年異なる所有者から持ち込まれます。このような状況のため、森林認証制度をそれらの森林所有者に導入するに至っていません。

一方、2006年4月に日本で「グリーン購入法」が改正されて以降、アメリカ広葉樹の合法性証明についての問合せに応じて、アメリカ広葉樹輸出協会ではアメリカ広葉樹の主な生産地である東部33州において、アメリカ広葉樹の合法性と持続可能性について大規模な調査を第3機関に依頼しました。

### アメリカ広葉樹の合法性と 持続可能性に関する大規模な 調査と実施

アメリカ広葉樹の合法性と持続可能性に関する調査により収集されたデータは、天然資源経済学者、森林認証制度のコンサルタント、森林管理に影響する規制や制度に関する権威者など学会や環境団体、および政府・業界へのコンサルティングにおいて高く評価されているアナリストたちによって分析され報告書にまとめられました。その報告書では輸出されているアメリカ広葉樹製品が違法な供給源からの木材を含んでいるリスクは極めて低いことが

明確に示唆されているとしており、また盗伐による原木量もアメリカ広葉樹総生産量の非常にわずかな割合、おそらく1%にも満たないとしています。

さらに違法行為や不良な森林経営に対しては、連邦および各州レベルの規制や制度などのセイフティネットにより、合法性を実証する追加調査や森林認証制度は米国で生産されるアメリカ広葉樹製品にとって必須条件ではないとの結論に達しました。そこで、アメリカ広葉樹輸出協会では日本の「グリーン購入法」に対応するために、その報告書に基づき、日本に輸出されるアメリカ広葉樹製材に合法性証明を添付する方向で進んでおります。



# About AHEC

AHEC (アメリカ広葉樹輸出協会) は、アメリカ広葉樹についての情報提供と技術的支援を目的に設立され、米国農務省海外農務局 (FAS) 木材輸出促進プログラムの一環として、下記のような活動を幅広く行っています。

## エコ・プロジェクト

アメリカ広葉樹の内装材としての需要を喚起するために、アメリカ広葉樹の低級材を実際に使用して頂き、その特徴である節・色遣等のキャラクターマークを活かした建築内装とその加工・施工工程をパンフレットなどで紹介いたします。また、家具・木工メーカーにもアメリカ広葉樹材を提供し、オリジナル家具や小物を製作して頂き、見本市において一般に公開します。

## セミナーの開催

ユーザーニーズに応じたテーマを設定し、米日の専門家や、各国からゲスト講師を招いて各地で開催しています。



## フィールドツアー (現地視察)

木材会社・加工工場の見学を通じ、実際にアメリカ広葉樹材に触れることができます。



## ハング・タグ・プロモーション

タグ、シール、POPスタンドなどのツールを用いて、アメリカ広葉樹が適切な森林管理のもと、安定供給が可能である、合法的な材であることを一般ユーザーにアピールしています。



## トレードサービス (情報交換)

ユーザーを訪問して要望や意見を聞き、豊富な資料・情報をもとに生産地の実情などを交えて意見を交換、経営に役立つアドバイスをを行っています。



## トレードショーへの参加

日本各地で開催される見本市などに参加し、アメリカ広葉樹で作られた家具や小物、フロアを展示。実際に手に触れていただくことでその魅力をアピールしています。最新情報の提供や各種パンフレット・サンプル材の無料配付なども行っています。



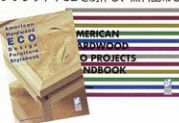
## 懇談会の開催

アメリカ広葉樹製品取り扱いの拡大に向け、アメリカの木材業界に対する要望や、日本市場の状況などについて意見交換を行います。



## パンフレット等の配付

アメリカ広葉樹の本当の良さを知って頂くため、各種パンフレットやCDを制作し、無料配布しています。



# Many Thanks to:

アメリカ広葉樹エコ・インテリア・プロジェクトにご協力頂いた米国の広葉樹業界の企業  
(List of U.S. hardwood industry to donate for American Hardwood Eco-Interior Project)

Allegheny Wood Products, Inc.  
Bradford Forest Inc.  
Cersosimo Lumber Co. Inc.  
Interforest Lumber Corp.  
Northland Corporation

## アメリカ広葉樹エコ・インテリア・プロジェクトにご協力頂いた日本の皆様

建築主  
建機園クリニク  
北海道札幌市豊平区平岸3条10-3-1 〒062-0933  
TEL:011-299-6418 FAX:011-299-6419

施工  
株式会社福島工務店  
北海道小樽市若松1-7-18 〒047-0017  
TEL:0134-23-3542 FAX:0134-33-2442

設計・監理  
有限会社ヒコ コニシ設計事務所  
北海道札幌市中央区界川1-5-6 〒064-0943  
TEL:011-512-7678 FAX:011-512-7665  
<http://hikokonishi.infoseek.co.jp/>

## アメリカ広葉樹エコ・インテリア・プロジェクトにご協力頂いた日本の木材業界の皆様

株式会社新富商行  
本社 北海道小樽市福穂2-1-1 〒047-0032  
TEL 0134-24-1311 FAX. 0134-22-8717  
<http://www.shingu-shoko.co.jp/>  
釧路工場 北海道小樽市釧路2-31-1 〒047-0261  
TEL 0134-62-2011 FAX. 0134-61-2011  
札幌支店 北海道札幌市西区琴似2条7-2-1 〒063-0812  
TEL 011-644-1011 FAX. 011-643-1296  
東京支店 東京都江東区東陽2-4-2 新宮ビル 〒135-0016  
TEL. 03-3649-7131 FAX. 03-5690-7057  
大阪支店 大阪府吹田市垂水町3-33-29 〒564-0062  
TEL. 06-6380-0401 FAX. 06-6388-2006

株式会社山王  
本社 大板市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千曲ビル  
〒559-0011  
TEL. 06-6681-2321 FAX. 06-6681-5013  
<http://www.sannaj.co.jp/>  
静岡支店 静岡県焼津市越後島382-4 〒425-0092  
TEL. 054-629-7101 FAX. 054-627-3097  
大川営業所 福岡県大川市鎌ヶ江709-1 〒831-0013  
TEL. 0944-87-9100 FAX. 0944-86-5905

昭和木材株式会社  
本社 北海道川市2条東23丁目1号 〒078-8212  
TEL. 0166-31-4781 FAX. 0166-31-4785  
<http://www.showa-lumber.co.jp/>

(順不同)

アメリカ広葉樹輸出協会 (AHEC)  
大板市北区高天満2-11-5 アメリカ総務館内 〒530-0047  
TEL. 06-6315-5101 FAX. 06-6315-5103 <http://www.ahec-japan.org/>